平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月10日

上場会社名　株式会社 椿本チエイン　　上場取引所　東 大
コード番号　6371　URL　http://www.tsubakimoto.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 長 勇
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長　(氏名) 山本 哲也　TEL 06-6441-0054
四半期報告書提出予定日　平成22年11月11日　配当支払開始予定日　平成22年12月10日
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　有
四半期決算説明会開催の有無　:　有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	68,270	35.2	5,341	—	5,410	935.2	3,159	523.1
22年3月期第2四半期	50,503	△38.5	183	△97.9	522	△94.2	507	△91.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	16.98	—
22年3月期第2四半期	2.73	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	177,340	86,698	45.4	433.16
22年3月期	182,641	86,837	44.3	434.59

(参考) 自己資本　23年3月期第2四半期 80,580百万円　22年3月期 80,847百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
23年3月期	—	3.00			
23年3月期(予想)			—	3.00	6.00

(注)当四半期における配当予想の修正有無　無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	17.1	8,800	85.7	8,500	70.3	4,800	51.2	25.80

(注)当四半期における業績予想の修正有無　有

4. その他　（詳細は、【添付資料】6ページ「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　無

新規　―社　（社名　　）、　除外　―社　（社名　　）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更　有

② ①以外の変更　無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	191,406,969株	22年3月期	191,406,969株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	5,379,212株	22年3月期	5,374,353株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	186,030,242株	22年3月期2Q	186,042,071株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外でありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。実際の業績は、今後の当社グループを取り巻く経営環境の変化、市場の動向、為替の変動などにより、予想数値と異なる場合があります。また、業績に影響を与え得る要素はこれらに限定されるものではございません。

○添付資料の目次

1.　当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… P. 3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… P. 5
2.　その他の情報 …… P. 6
(1) 重要な子会社の異動の概要 …… P. 6
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… P. 6
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… P. 6
3.　四半期連結財務諸表 …… P. 7
(1) 四半期連結貸借対照表 …… P. 7
(2) 四半期連結損益計算書 …… P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… P. 10
(4) 継続企業の前提に関する注記 …… P. 12
(5) セグメント情報 …… P. 12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… P. 15

1.　当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成22年4月1日～9月30日）におけるわが国経済は、アジア向けを中心とした輸出の増加や個人消費の持ち直しなどにより、緩やかながら回復傾向をたどりました。しかし、期間後半においては、急激な円高の進行による輸出の減少懸念や環境対応車への政府補助金の打ち切りに伴う自動車販売の減少懸念などにより、景気の先行き不透明感が強まる状況となりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、工作機械や液晶・半導体関連業界を中心に設備投資の回復傾向が見られ、また環境対応車を中心とした自動車販売が好調を保つなど、堅調に推移しました。

このような状況のもと、当第２四半期連結累計期間の受注高は678億16百万円（前年同期比33.0%増）、売上高は682億70百万円（同35.2%増）となりました。利益につきましては、売上高の増加に加え、グループをあげて取り組んでいる収益改善活動により、営業利益は53億41百万円（同29.1倍）、経常利益は54億10百万円（同10.4倍）、四半期純利益は31億59百万円（同6.2倍）となりました。

なお、セグメント別の概況は次のとおりです。

（当社グループでは、第１四半期連結会計期間より、事業の種類別セグメントの区分をパワトラ事業部門、マテハン事業部門から、報告セグメントとしてチェーン、精機、自動車部品、マテハンの４セグメントに変更しました。このため、各セグメントにおける対前年同期との金額比較は記載しておりません。）

［チェーン］

チェーンにつきましては、工作機械業界や液晶・半導体関連業界、自動車業界、食品業界向けなどに、動力伝動用チェーンや小形搬送用チェーン、ケーブル・ホース支持案内装置を中心とした主要商品の販売が好調に推移しました。

以上により、チェーンの受注高は231億43百万円、売上高は230億８百万円、営業利益は13億18百万円となりました。

［精機］

精機につきましては、工作機械業界や液晶・半導体関連業界向けなどに、減速機、直線作動機や締結具・軸継手などの主要商品の販売が回復基調となりました。

以上により、精機の受注高は99億70百万円、売上高は94億83百万円、営業利益は９億42百万円となりました。

［自動車部品］

自動車部品につきましては、環境対応車などの自動車生産が国内外において好調を維持したことなどから、主要商品である自動車エンジン向けタイミングチェーンドライブシステムの販売が好調に推移しました。

以上により、自動車部品の受注高は216億５百万円、売上高は222億79百万円、営業利益は30億27百万円となりました。

［マテハン］

マテハンにつきましては、依然として厳しい状況が続きましたが、鉄鋼業界や自動車業界向けの搬送システム、流通業界向け仕分けシステムの大口案件売上がありました。

以上により、マテハンの受注高は121億39百万円、売上高は125億70百万円となりました。損益につきましては、第１四半期における不採算案件売上の影響もあり、２億27百万円の営業損失となりました。

［その他］

その他の受注高は９億57百万円、売上高は９億28百万円、営業利益は78百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

【財政状態に関する分析】

資産

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比較して53億１百万円減少し、1,773億40百万円となりました。

流動資産は、譲渡性預金の減少などにより有価証券が39億21百万円減少したことや、1年内償還予定の社債の償還などにより現金及び預金が34億80百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して62億６百万円減少し、758億13百万円となりました。

固定資産は、Kabelschlepp GmbHの新規連結などにより有形固定資産が８億94百万円増加したことなどから前連結会計年度末と比較して９億５百万円増加し、1,015億26百万円となりました。

負債

負債は、支払手形及び買掛金が18億51百万円増加した一方、1年内償還予定の社債70億10百万円を償還したことなどから、前連結会計年度末と比較して51億62百万円減少し、906億41百万円となりました。

純資産

純資産は、利益剰余金が26億１百万円増加した一方、為替の変動により為替換算調整勘定が17億33百万円減少したことや、保有株式に生じた時価評価差額の減少によりその他有価証券評価差額金が11億74百万円減少したことなどから、前連結会計年度末と比較して１億38百万円減少の866億98百万円となり、自己資本比率は45.4%となりました。

【キャッシュ・フローに関する分析】

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して74億４百万円減少し、129億75百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次の通りであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は76億43百万円（前年同期は59億58百万円の増加）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益を51億91百万円計上したことや、減価償却費を36億25百万円計上したことなどによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は48億29百万円（前年同期は39億19百万円の減少）となりました。これは、連結範囲の変更を伴う子会社出資金の取得に18億56百万円支出したことや、自動車部品生産設備等への設備投資代金の決済に18億12百万円支出したこと、関係会社株式の取得に11億37百万円支出したことなどによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は98億39百万円（前年同期は49億92百万円の増加）となりました。これは、社債の償還による支出が70億10百万円あったことや、長期借入金の返済による支出が28億45百万円あったことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年３月期の業績につきましては、景気の先行き不透明な状況が続くものと思われますが、第２四半期連結累計期間の実績を踏まえ、平成22年８月６日に公表した業績予想数値を下記のとおり修正いたします。

なお、通期連結業績予想数値の前提となる為替レートは、１米ドル=85円、１ユーロ=115円であります。

平成23年3月期通期の連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成22年8月6日 発表)	130,000	7,500	7,400	4,200	22.58
今 回 修 正 予 想 (B)	132,000	8,800	8,500	4,800	25.80
増 減 額 (B－A)	2,000	1,300	1,100	600	―
増 減 率 (%)	1.5	17.3	14.9	14.3	―

(ご参考)平成23年3月期通期の個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A) (平成22年8月6日 発表)	73,000	3,200	4,600	2,900	15.59
今 回 修 正 予 想 (B)	75,000	3,300	4,800	3,000	16.13
増 減 額 (B－A)	2,000	100	200	100	―
増 減 率 (%)	2.7	3.1	4.3	3.4	―

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 簡便な会計処理

固定資産の減価償却費の算定方法

一部の連結子会社においては、固定資産の減価償却費の算定は、年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づいております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 第１四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号　平成20年３月10日公表分）および「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」（実務対応報告第24号　平成20年３月10日）を適用しております。

この変更による営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

② 第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

この変更により、営業利益および経常利益は６百万円、税金等調整前四半期純利益は２億10百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は２億44百万円であります。

③ 第１四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号　平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号　平成20年12月26日）、「『研究開発費等に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第23号　平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第７号　平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号　平成20年12月26日公表分）および「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号　平成20年12月26日）を適用しております。

3.　四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成22年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,950	11,431
受取手形及び売掛金	35,055	34,262
有価証券	5,258	9,179
商品及び製品	10,683	10,880
仕掛品	8,591	9,025
原材料及び貯蔵品	4,471	3,898
その他	4,260	3,698
貸倒引当金	△458	△355
流動資産合計	75,813	82,020
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	22,546	21,693
機械装置及び運搬具（純額）	18,423	19,070
工具、器具及び備品（純額）	2,094	1,978
土地	36,607	36,404
建設仮勘定	2,107	1,736
有形固定資産合計	81,778	80,883
無形固定資産		
のれん	556	－
その他	1,487	1,585
無形固定資産合計	2,043	1,585
投資その他の資産		
投資有価証券	12,205	12,896
その他	5,629	5,392
貸倒引当金	△130	△137
投資その他の資産合計	17,703	18,152
固定資産合計	101,526	100,620
資産合計	177,340	182,641

（単位：百万円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成22年９月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成22年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	20,656	18,805
短期借入金	7,715	8,265
1年内返済予定の長期借入金	1,166	2,199
1年内償還予定の社債	―	7,010
未払法人税等	1,716	719
賞与引当金	2,435	1,947
工事損失引当金	51	93
資産除去債務	13	―
その他	9,632	9,510
流動負債合計	43,386	48,551
固定負債		
長期借入金	22,355	21,436
退職給付引当金	9,886	9,694
役員退職慰労引当金	219	253
資産除去債務	233	―
その他	14,560	15,868
固定負債合計	47,254	47,253
負債合計	90,641	95,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	17,076	17,076
資本剰余金	12,653	12,653
利益剰余金	69,257	66,655
自己株式	△2,546	△2,544
株主資本合計	96,441	93,841
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,183	3,357
繰延ヘッジ損益	30	△9
土地再評価差額金	△12,084	△12,084
為替換算調整勘定	△5,991	△4,257
評価・換算差額等合計	△15,860	△12,993
少数株主持分	6,118	5,989
純資産合計	86,698	86,837
負債純資産合計	177,340	182,641

(2) 四半期連結損益計算書
【第２四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成21年４月１日 至 平成21年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日)
売上高	50,503	68,270
売上原価	38,676	49,086
売上総利益	11,827	19,183
販売費及び一般管理費	11,643	13,842
営業利益	183	5,341
営業外収益		
受取利息	12	21
受取配当金	190	184
受取保険料	184	150
助成金収入	328	－
その他	252	321
営業外収益合計	968	677
営業外費用		
支払利息	345	344
為替差損	75	2
その他	208	260
営業外費用合計	629	608
経常利益	522	5,410
特別利益		
貸倒引当金戻入額	14	－
特別利益合計	14	－
特別損失		
投資有価証券評価損	－	14
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	204
特別損失合計	－	218
税金等調整前四半期純利益	536	5,191
法人税、住民税及び事業税	236	1,871
法人税等還付税額	△154	△0
法人税等調整額	73	△54
法人税等合計	154	1,817
少数株主損益調整前四半期純利益	－	3,374
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△125	215
四半期純利益	507	3,159

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成21年４月１日 至 平成21年９月30日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	536	5,191
減価償却費	3,567	3,625
のれん償却額	－	69
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	－	204
固定資産除売却損益（△は益）	31	67
投資有価証券評価損益（△は益）	－	14
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△0	19
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△363	△79
売上債権の増減額（△は増加）	3,209	△461
たな卸資産の増減額（△は増加）	1,639	△34
仕入債務の増減額（△は減少）	△2,689	1,492
その他	△200	△1,495
小計	5,731	8,615
利息及び配当金の受取額	197	206
利息の支払額	△299	△371
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	328	△806
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,958	7,643
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
定期預金の払戻による収入	10	3
子会社の清算による収入	－	138
投資有価証券の取得による支出	△7	△214
投資有価証券の売却による収入	－	0
関係会社株式の取得による支出	△210	△1,137
関係会社出資金の払込による支出	△12	－
連結範囲の変更を伴う子会社出資金の取得による支出	－	△1,856
長期貸付けによる支出	△24	△14
長期貸付金の回収による収入	31	35
固定資産の取得による支出	△3,725	△1,812
固定資産の売却による収入	19	27
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,919	△4,829

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成21年４月１日 至 平成21年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	666	△676
長期借入れによる収入	10,000	1,584
長期借入金の返済による支出	△4,619	△2,845
社債の償還による支出	△20	△7,010
リース債務の返済による支出	△16	△50
割賦債務の返済による支出	△160	△165
配当金の支払額	△744	△558
少数株主への配当金の支払額	△113	△117
自己株式の取得による支出	△1	△1
自己株式の売却による収入	0	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,992	△9,839
現金及び現金同等物に係る換算差額	13	△378
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	7,045	△7,404
現金及び現金同等物の期首残高	11,269	20,379
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,315	12,975

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間(自　平成21年４月１日　至　平成21年９月30日)

	パワトラ事業部門(百万円)	マテハン事業部門(百万円)	その他部門(百万円)	計(百万円)	消去又は全社(百万円)	連結(百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	41,244	9,020	238	50,503	—	50,503
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	658	24	498	1,182	(1,182)	—
計	41,902	9,045	736	51,685	(1,182)	50,503
営業利益又は営業損失(△)	1,644	△ 53	71	1,662	(1,479)	183

(注) 1　事業区分の方法

事業区分の方法は、内部管理上採用している区分によっております。

2　各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
パワトラ事業部門	・動力伝動用チェーン ・搬送用チェーン ・ケーブル・ホース支持案内装置 ・自動車部品 ・一般産業用ベルト商品 ・伝動装置
マテハン事業部門	・システム（搬送システム、仕分けシステム、保管・ピッキングシステム　他） ・コンベヤ、物流機器装置 ・設備監視ソフト ・メンテナンスサービス
その他部門	・ビルメンテナンス、保険代理業、ヘルスケア機器の販売　他

【所在地別セグメント情報】

前第２四半期連結累計期間(自　平成21年４月１日　至　平成21年９月30日)

	日本 (百万円)	北米 (百万円)	欧州 (百万円)	アジア・ オセア ニア (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
① 外部顧客に対する売上高	34,999	8,910	2,643	3,934	16	50,503	—	50,503
② セグメント間の内部売上高又は振替高	4,375	81	35	174	—	4,666	(4,666)	—
計	39,375	8,992	2,678	4,108	16	55,169	(4,666)	50,503
営業利益又は営業損失(△)	846	△ 158	64	364	△ 25	1,091	(907)	183

(注) １　国又は地域の区分の方法
　　国又は地域の区分の方法は、地理的近接度による区分によっております。
　２　本邦以外の区分に属する主な国又は地域
　　(1) 北米……アメリカ、カナダ
　　(2) 欧州……オランダ、イギリス
　　(3) アジア・オセアニア……台湾、中華人民共和国、シンガポール、タイ、オーストラリア
　　(4) その他……ブラジル

【海外売上高】

前第２四半期連結累計期間(自　平成21年４月１日　至　平成21年９月30日)

	北米	欧州	アジア・ オセアニア	その他の地域	計
Ⅰ　海外売上高(百万円)	8,946	2,695	5,292	210	17,145
Ⅱ　連結売上高(百万円)					50,503
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	17.7	5.3	10.5	0.4	33.9

(注) １　国又は地域の区分の方法
　　国又は地域の区分の方法は、地理的近接度による区分によっております。
　２　各区分に属する主な国又は地域
　　(1) 北米……アメリカ、カナダ
　　(2) 欧州……オランダ、イギリス
　　(3) アジア・オセアニア……台湾、中華人民共和国、シンガポール、タイ、オーストラリア
　　(4) その他の地域……アフリカ、中近東、中南米
　３　海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1　報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、製品・サービス別の事業グループ体制を敷き、それぞれの事業グループごとに国内および海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社の報告セグメントは「チェーン」、「精機」、「自動車部品」、「マテハン」の４セグメントであります。

各報告セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

報告セグメント	主要製品
チェーン	・動力伝動用チェーン ・搬送用チェーン ・ケーブル・ホース支持案内装置 ・スプロケット ・一般産業用ベルト商品
精機	・伝動装置（変減速機、直線作動機、締結具、軸継手、クラッチ、過負荷保護機器、トルク機器、間欠駆動ユニット　他）
自動車部品	・自動車部品（タイミングチェーン、パワードライブチェーン、テンショナ、タイミングベルト、ガイド、レバー、スプロケット、プーリ　他）
マテハン	・システム（搬送システム、仕分けシステム、保管・ピッキングシステム　他） ・コンベヤ、物流機器装置 ・設備監視ソフト ・メンテナンスサービス

2　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第２四半期連結累計期間(自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日)

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注１）	合計	調整額（注２）	四半期連結損益計算書計上額
	チェーン	精機	自動車部品	マテハン	小計				
売上高									
外部顧客に対する売上高	23,008	9,483	22,279	12,570	67,342	928	68,270	—	68,270
セグメント間の内部売上高又は振替高	554	124	0	20	700	400	1,100	△1,100	—
計	23,563	9,608	22,280	12,591	68,043	1,328	69,371	△1,100	68,270
セグメント利益又は損失(△)(営業利益又は損失(△))	1,318	942	3,027	△227	5,060	78	5,138	202	5,341

（注）１　「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ビルメンテナンス、保険代理業等を含んでおります。

２　セグメント利益の調整額202百万円には、セグメント間取引消去339百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△136百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

（追加情報）

第１四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号　平成21年３月27日）および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号　平成20年３月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。